

2022年上半期新エネルギー車販売台数世界 No.1^{※1}

BYD がついに日本乗用車市場へ 最新 EV 3車種を日本で 2023 年から順次発売

乗用車販売・関連サービスを提供する BYD Auto Japan 株式会社を設立

BYD の日本法人ビーワイディージャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：劉 学亮、以下 BYD ジャパン）はこの度、日本の乗用車市場への参入を決定いたしました。

これに伴い、BYD ジャパンは、国内における乗用車の販売ならびに関連サービスを提供する 100%出資子会社として BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下 BYD Auto Japan）を 2022 年 7 月 4 日（月）付で設立いたしました。BYD Auto Japan は 2023 年 1 月より順次、EV 3車種の販売を開始いたします。



BYD Auto Japan が発売を予定しているのは、最新のテクノロジーが満載のスタイリッシュなミドルサイズ e-SUV「ATTO 3（読み：アットスリー）」と、日常に溶け込むサイズでさまざまなライフスタイルにマッチする e-Compact「DOLPHIN（読み：ドルフィン）」、BYD の最新技術を結集したハイエンドな e-Sedan「SEAL（読み：シール）」の 3車種です。

2023 年 1 月に発売予定の「ATTO 3」を皮切りに、2023 年中頃に「DOLPHIN」、2023 年下半期に「SEAL」の発売を予定しています。

BYD Auto Japan は、販売代理店を通じて乗用車の販売とアフターサービスを提供し、日本のお客様のニーズに応えるサービス体制を構築いたします。

また、BYD ジャパン及び BYD Auto Japan は、ブランドパーパスとして「e モビリティを、みんなのものに。」を掲げ、日本全国の人たちにとって e モビリティが身近なものとなるよう、取り組みを進めてまいります。今後は『RED BRICK BEACH 2022 presented by BYD AUTO JAPAN』への協賛および EV の出展と試乗機会の提供のほか、BYD の e モビリティがある生活を体感いただく『e モビリティパートナープログラム』の実施の 2 つの取り組みを予定しています。

（※1） 自社調べ（2022 年 7 月時点、世界の EV 主要メーカー 4 社と比較）

【日本での乗用車発売の背景】

中国・深圳に本社を構える BYD は、乗用車のほか EV バスや EV トラックなどの商用車も含む新エネルギー車（以下、NEV）^{※2} を世界 70 超の国と地域、400 超の都市で展開する世界最大手の自動車メーカーの一つです。特に、BYD の乗用車は 2021 年、前年比 220%増の約 60 万 4000 台の NEV を販売。さらに 2022 年 1~6 月には前年同期比 3 倍超となる約 64 万台を販売し、NEV 販売台数世界 No. 1 となりました。

BYD の日本法人として 2005 年に設立した BYD ジャパンは、国内で EV バスや EV フォークリフトなどを中心に事業を展開し、国内 EV バスシェアは約 7 割^{※3} にのぼるなど、商用領域においてモビリティの電動化を推進してまいりました。

こうした中、日本政府が 2035 年までに国内新車販売で電動車 100%を実現することを決定し、電動化が急務とされる一方で、2021 年の日本における EV 販売実績は約 1%^{※4} に留まっています。BYD ジャパンが行った調査^{※5} では、「車両価格の高さ」や「充電設備の不足」、「航続距離への不安」、「ラインナップの少なさ」などが電気自動車の購入のハードルとなっていることが分かりました。

世界中で高い安全性と航続性能をもったさまざまなボディタイプの EV を手に届きやすい価格で展開してきた BYD は、日本においても「e モビリティを、みんなのものに。」をブランドパーパスとして掲げ、2050 年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、BYD の EV を日本の皆様の選択肢の一つとして頂けるよう、日本の乗用車市場への参入を決定いたしました。

(※2) 新エネルギー車 (NEV : New Energy Vehicle) は、EV、PHEV (プラグインハイブリッド)、FCV (燃料電池車) の中国における総称。

(※3) 自社調べ (2022 年 7 月時点)

(※4) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会の燃料別販売台数 [URL:http://www.jada.or.jp/data/month/m-fuel-hanbai/](http://www.jada.or.jp/data/month/m-fuel-hanbai/)

(※5) 調査概要：EV 車に関する調査 日時：2022 年 6 月 25 日 (土) ~2022 年 6 月 27 日 (月)

調査対象：EV 以外の自家用車を保持する全国の 20~60 代男女

調査方法：インターネットによる任意回答 回答者数：4700 名

【日本発売予定車種について】 ※詳細は別添の参考資料をご確認ください。

■ちょうどいいサイズに最新のテクノロジーが満載 ミドルサイズ e-SUV 「ATTO 3」



「ATTO 3」は、2022 年 2 月に中国で販売を開始して以降、シンガポールやオーストラリアなど中国国外でも好評を得ています。BYD が独自開発した「ブレードバッテリー」を搭載した EV 専用のプラットフォーム「e-Platform 3.0」を採用し、485km の航続距離 (WLTC 値^{※6}) と高い安全性、フラットな床面によって広い車内空間と 440L の荷室容量を実現しました。

■さまざまなライフスタイルにマッチする e-Compact 「DOLPHIN」



2021年8月に中国で販売開始した「DOLPHIN」は、海からのインスピレーションを得て、エクステリアとインテリアの随所にイルカをイメージしたデザインが施されています。

「e-Platform 3.0」を採用し、471km（WLTC 値^{※7}）の航続距離を可能にしました。ラインナップはスタンダード、ハイグレードの2種類で、両グレードで交通標識認識システムや誤発進抑制機能などの充実した安全装備を標準搭載しています。安全性に妥協せず、日本のお客様の生活を支えるコンパクトEVです。

■BYDの最新技術を結集したハイエンド e-Sedan 「SEAL」



「SEAL」は、「DOLPHIN」と同じく海からのインスピレーションを得ており、スポーティーかつエレガントなデザインを特徴としたEVセダンです。BYDが2022年5月に発表したばかりの最新モデルで、その航続距離は555km（欧州WLTP 値^{※8}）に達します。

高い安全性と長い航続距離を誇るBYDの最先端技術が結集された「SEAL」が、EVの新しい選択肢となることを期待しています。

（※6）自社による実測値

（※7,8）自社による算出値

【BYD Auto Japan 今後の取り組み】

BYD Auto Japan は、「e モビリティを、みんなのものに。」というブランドパーパスのもと、日本全国の方々に e モビリティを身近なものと感じていただける取り組みを順次進めてまいります。

■『RED BRICK BEACH 2022 presented by BYD AUTO JAPAN』への協賛決定！

2022年7月30日（土）から8月28日（日）まで、神奈川県横浜市の横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催される『RED BRICK BEACH 2022 presented by BYD AUTO JAPAN』にトップスポンサーとして協賛し、期間中会場内に「ATTO 3」「DOLPHIN」「SEAL」を展示いたします。本会場では、「ATTO 3」をご試乗いただくことも可能です。本件に関する情報は、今後随時更新いたします。

イベント詳細：<https://www.yokohama-akarenga.jp/brickjournal/detail/68>

■EV ライフを体感いただける『e モビリティパートナープログラム』

BYD のEV 車に興味を持っていただいた方々に BYD の乗用車を一定期間無償で貸し出し、BYD の e モビリティがある生活を体感していただく『e モビリティパートナープログラム』を、2022年8月後半より募集開始いたします。応募受付開始に関する情報や本プログラムの詳細は今後、公式 HP (<https://byd.co.jp/e-life/>) にて随時ご案内いたします。

【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYD ジャパンは、この度の日本における乗用車発売決定に伴い、乗用車販売サービス専業会社として、BYD Auto Japan 株式会社を2022年7月4日（月）に設立いたしました。

BYD Auto Japan は、販売代理店を通じて乗用車の販売とアフターサービスを提供し、2025年末までに日本全国に展開することを目指しています。ブランドパーパスに掲げる「e モビリティを、みんなのものに。」のもと、すべてのお客様にとって e モビリティを身近なものにすることで、より良い暮らしとより良い未来の実現に貢献してまいります。

社名	BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区栄町 10-35 ポートサイドダイヤビル 2F
事業内容	BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務
代表取締役社長	東福寺 厚樹

【BYD グループとは】

BYD は、1995年に中国・深圳で創業し、IT エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの4つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては世界 70 超の国と地域、400 超の都市に NEV を展開し、2021年には約 60 万台の NEV を販売、中国国内では9年連続で NEV 販売台数第 1 位^{※9}となりました。さらに2022年1～6月には前年同期比 3 倍超となる約 64 万台を販売し、NEV 販売台数世界 No. 1 となりました。

（※9）出典「Global EV Outlook 2020」

以上

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2022年7月21日（木）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせ：

ビーワイディー・ジャパン株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>